

「廃棄物処理施設の中長期的な整備構想」に基づく 新たな資源化処理施設の整備事業の概要について

令和7年5月
川崎市環境局

1 ヒアリング調査の目的

本市では、令和7年3月に「循環型社会の実現」と「脱炭素化」に向けて「**安定的な廃棄物処理体制**」の構築等を目指した施設整備を推進するために廃棄物処理施設の中長期的な整備構想（以下「整備構想」という。）を策定いたしました。

本事業では整備構想に記載のとおり、**資源化処理施設、粗大ごみ処理施設機能の移転（新たな施設の建設又は民間事業者への委託）を計画**しております。

ヒアリングでは、事業への参画の可能性や事業手法、コスト削減の可能性、処理委託の可能性等についてご意見を伺い、今後の事業計画の参考とさせていただくものです。

（ヒアリング調査でお聞きした内容は、事前に各事業者様に確認した上で、後日、本市ホームページにて公表いたします。）

2 事業の概要

○ 安定的な廃棄物処理体制（資源化処理体制）

昭和55年に竣工した南部リサイクルセンター及び平成7年に竣工した浮島処理センター粗大ごみ処理施設は老朽化が進行し、その影響により設備トラブルが多く発生しています。しかし、北部地域にある王禅寺処理センター資源化処理施設だけでは市内の資源物の処理は賄えず、また、設備更新等の期間の確保や現在の施設敷地に空きスペースがないことから、大規模修繕（基幹的整備）や、施設を稼働しながら敷地内に新施設を建設することができない状況となっています。

そのため、**資源化処理施設（空き缶・ペットボトル、空きびん、粗大ごみ）の機能移転（新たな施設の建設又は民間事業者への委託）を行う計画**としています。



川崎市の廃棄物処理体制

3 建設地（候補地）概要

- (1) 位置：川崎区浮島町(埋立地)
- (2) 区域面積：約24,000m²
- (3) 都市計画
市街化調整区域
容積率：200% 建蔽率：60%
- (4) 現況：建設発生土置場
- (5) 所有者：川崎市
- (6) その他：高潮・津波による浸水深 約1.5m
支持層 GL-約80m



現況写真

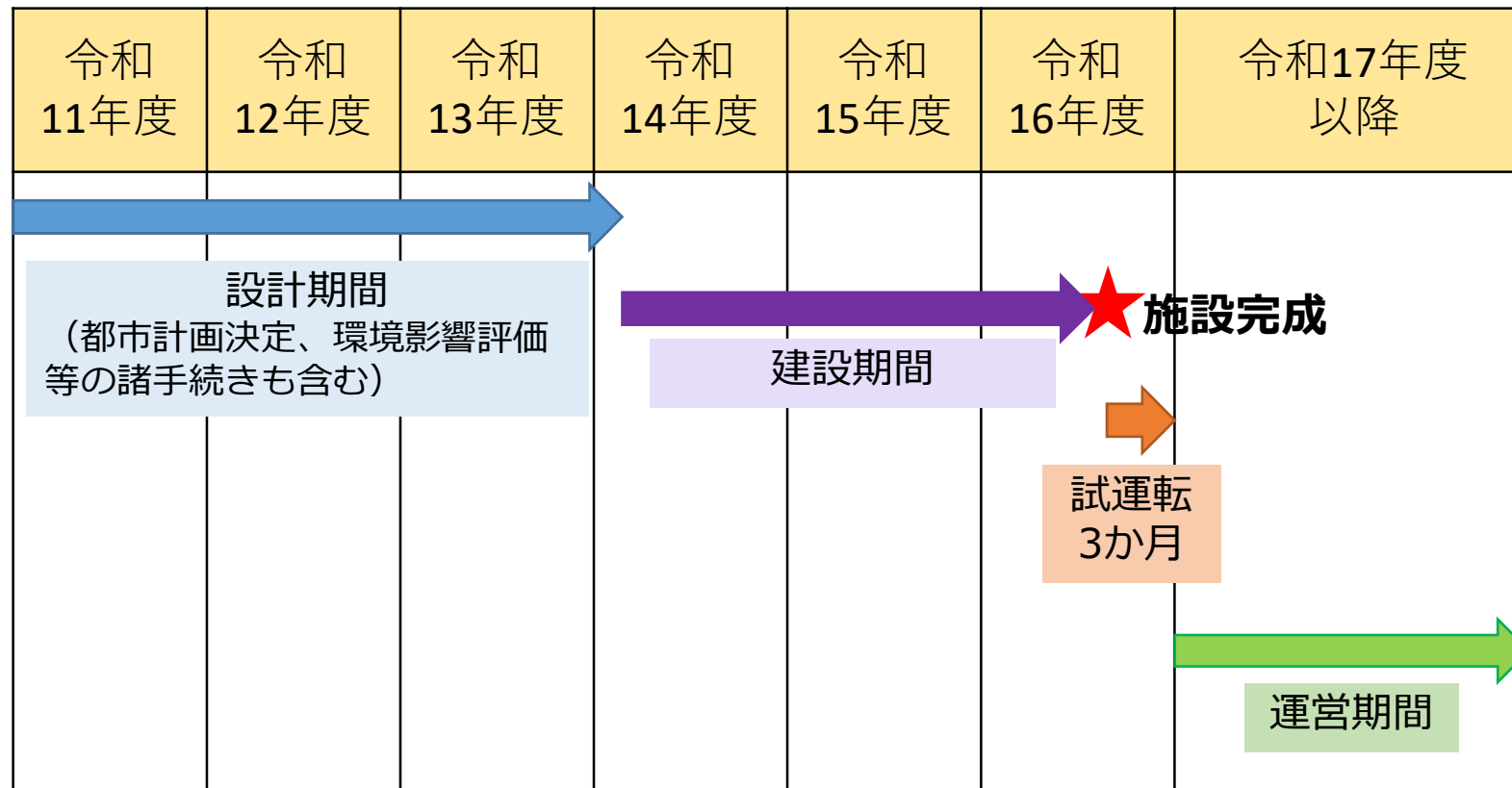


建設地（候補地）案内図



※建設地の面積、形状等は今後変更する可能性があります。

4 事業スケジュール（案）



※令和11年度までは発注手続き期間
(施設基本計画作成及び発注仕様書、要求水準書等作成等)

5 現施設の処理能力と本市の収集条件等

空き缶・ペットボトル・空きびん処理施設

○現施設の処理能力

種目	処理能力（t/日）
空き缶	35 (空き缶28 t、ペットボトル7 t)
ペットボトル	
空きびん	20

・令和5年度実績受入量

空き缶	年間：約2,030 t
ペットボトル	年間：約2,340 t
空きびん	年間：約4,220 t

○収集条件

- ・空き缶とペットボトルは分けずに袋収集（処理施設で選別）
- ・空きびんは空きびん入れ（かご）で収集

粗大ごみ処理施設

○現施設の処理能力

種目	処理能力（t/日）
粗大ごみ	50 (可燃物25 t・不燃物25 t)

・令和5年度実績受入量

粗大ごみ	年間：約5,530 t
小物金属	年間：約1,450 t

○収集条件

- ・粗大ごみは可燃物、不燃物を問わず収集し、処理施設で選別する。
- ・30cm未満の金属類は、粗大ごみとは別で小物金属として収集する。
- ・小物金属は粗大ごみ（不燃物）と一緒に処理する。
- ・2 m以上のものは収集不可

6 現施設の処理方法

○空き缶・ペットボトル

- ・破除袋機で収集袋を外し、磁選機でアルミ缶・スチール缶を自動選別する。選別後、圧縮成形し売却する。
- ・ペットボトルは不適物を手選別する。選別後、圧縮成形し売却する。

●ベール品寸法、搬出頻度

アルミ缶	: 800mm横×500mm縦×250mm幅	28kg/個
	週0～5回搬出	
スチール缶	: 800mm横×500mm縦×250mm幅	92kg/個
	週0～2回搬出	
ペットボトル	: 400mm横×600mm縦×300mm幅	18kg/個
	週3～5回搬出	

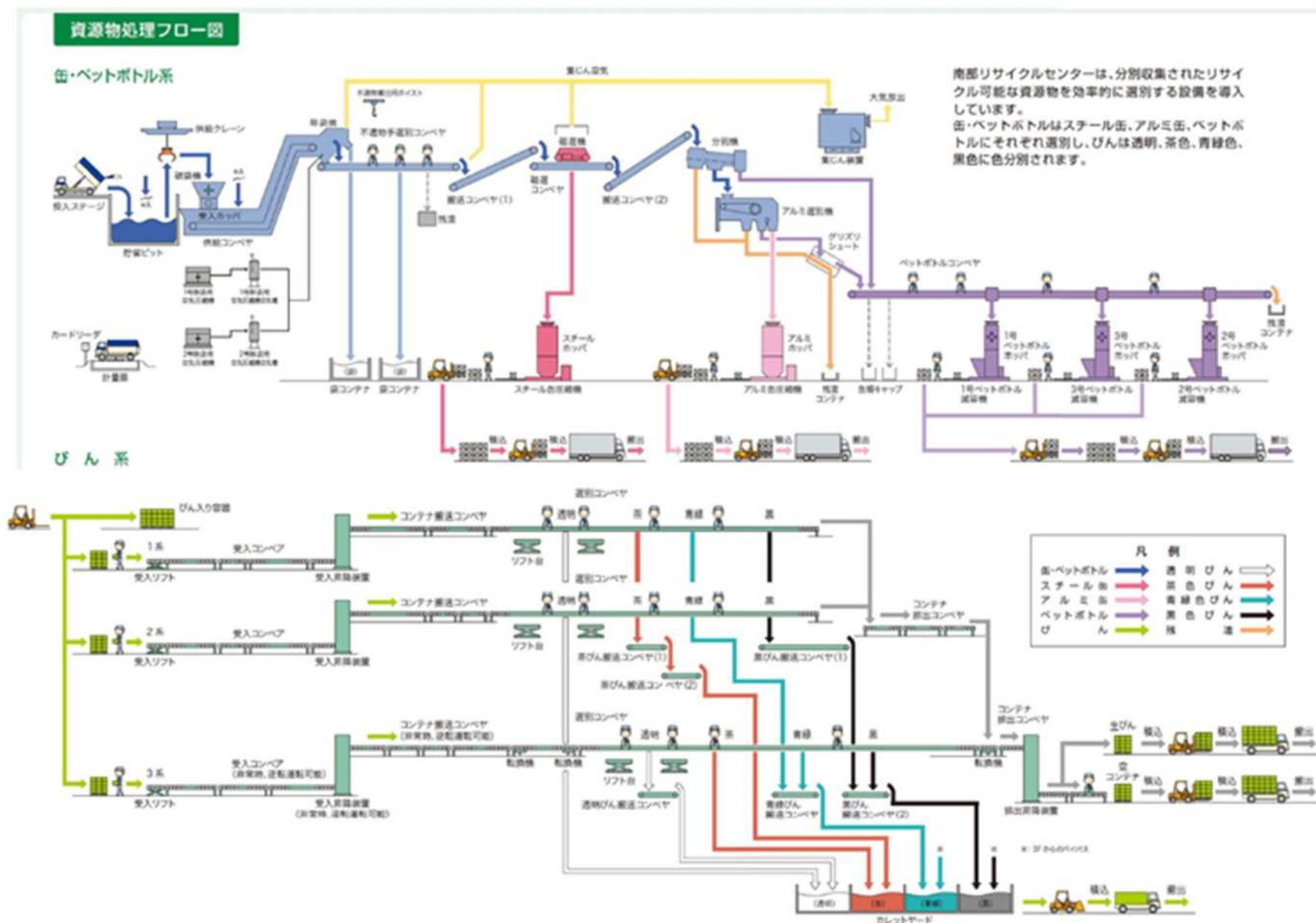
○空きびん

- ・生きびん（リターナブルびん）を手選別回収し、専用の容器に収める。
- ・無色、茶色、黒色及び青緑色以外の異色びん、異形びん、汚れびん等を手選別で取り除く。
- ・無色、茶色、黒色、青緑色に手選別し、カレットを再生事業者に引き渡す。

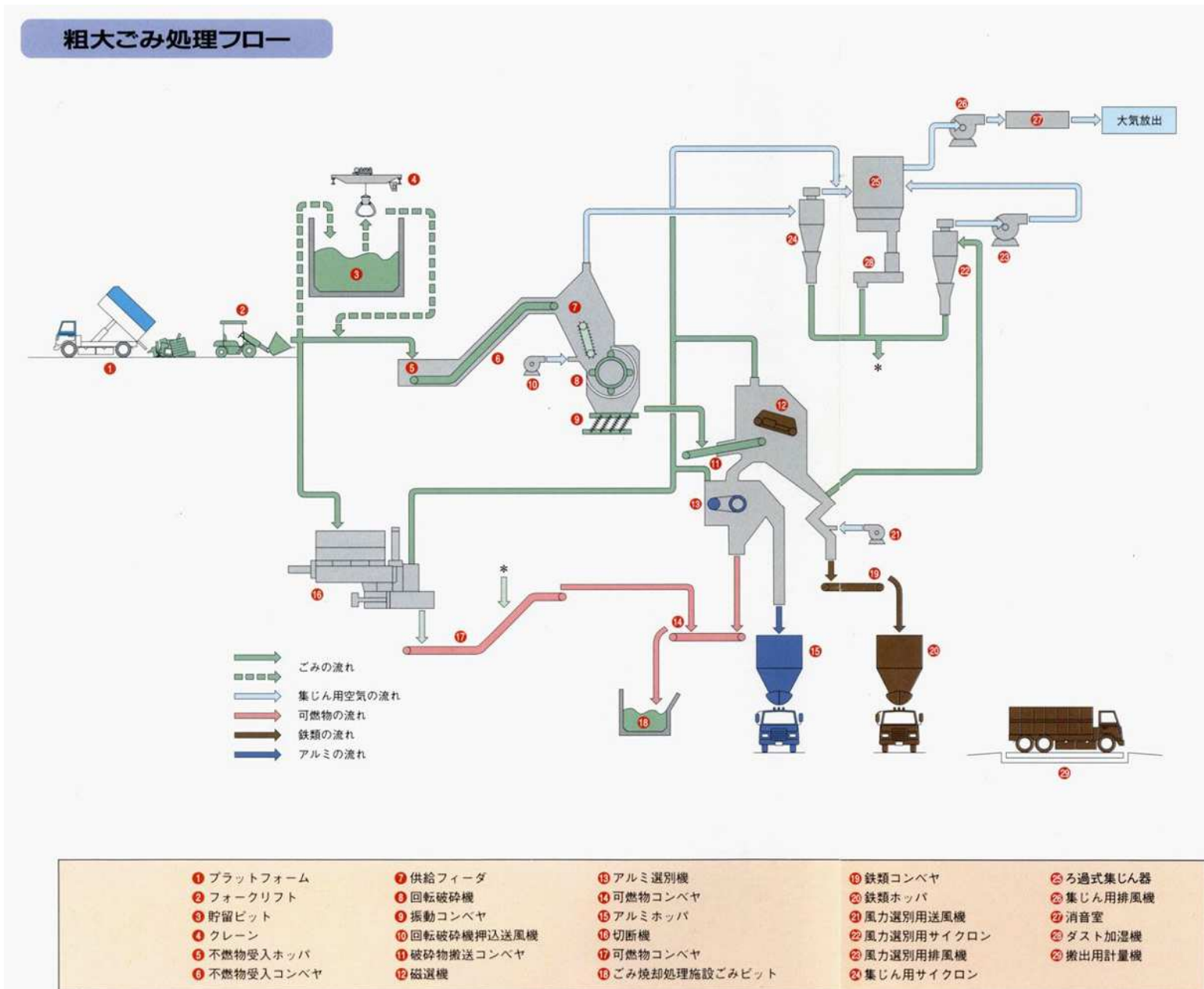
○粗大ごみ・小物金属

- ・施設で可燃物・不燃物に選別後、せん断破碎機及び回転破碎機で処理し、回収したアルミ、鉄類を売却、可燃物残渣は焼却処理する。
(小物金属は不燃物と同様に回転破碎機処理)
- ・羽毛布団、小型家電、導線、アルミ・真鍮、スプリング等に分けて回収し、売却する。

7 現施設の処理方法（空き缶・ペットボトル・空きびん 処理フロー図）



7 現施設の処理方法（粗大ごみ 処理フロー図）



8 ご意見をお聞きしたい事項

○施設整備・維持管理運営について

★事業手法

- ・事業において最適と考える事業手法（DB+O方式、DBO方式、PFI方式など）について

★施設整備・維持管理運営費

- ・民間活用を行った場合の削減について

★事業期間について

- ・施設整備期間の妥当性について
- ・最適と考える維持管理・運営期間について

★施設の安定稼働を行うための対策について

- ・高潮・津波などの災害対策について
- ・処理が滞らないための沈下対策について（建設候補地が埋立地のため）
- ・維持管理を考慮した施設の塩害対策について

○中間処理を行った成形品や粗大ごみの活用について

- ・空き缶やペットボトル等の中間処理をした成形品の売却以外の方法や、回収した粗大ごみを処理する方法以外にリユースやリサイクルなどの手法について等

○処理委託の可能性について

- ・処理委託の可否と可能な場合の品目と処理委託の費用について
- ・貴社内で処理委託を検討中の場合、検討を要する期間について
- ・委託の開始時期について（本市の供用開始（令和17年度予定）より先に委託開始が可能か）
- ・本市が求める条件（※）への対応について

（※）本市が求める条件

- ・災害発生時の片づけごみ等の受入れ
- ・長期に亘る運営の継続

お問合せ先

川崎市環境局施設建設課
044-200-2554
30siseke@city.kawasaki.jp